



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 勤二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 梅澤 茂樹 TEL 03-5399-8111
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	12,181	△0.5	389	△49.7	395	△49.3	234	△55.1
2023年3月期	12,236	13.0	775	△2.6	779	△3.6	523	△19.2

(注) 包括利益 2024年3月期 197百万円 (△62.2%) 2023年3月期 521百万円 (△25.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	78.18	—	5.4	4.3	3.2
2023年3月期	174.31	—	12.7	9.0	6.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	9,659	4,406	45.6	1,467.88
2023年3月期	8,846	4,314	48.8	1,437.15

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,406百万円 2023年3月期 4,314百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	910	△246	△105	1,656
2023年3月期	△414	△122	△105	1,097

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	105	20.1	2.6
2024年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	105	44.8	2.4
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		33.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,080	15.6	550	41.1	550	39.1	360	53.4	119.91

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年3月期	3,008,000株	2023年3月期	3,008,000株
2024年3月期	5,813株	2023年3月期	5,781株
2024年3月期	3,002,209株	2023年3月期	3,002,237株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	6,258	0.4	68	△79.2	97	△72.6	51	△80.1
2023年3月期	6,235	5.8	330	△32.4	356	△30.4	257	△44.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	17.07	—
2023年3月期	85.62	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,559	3,280	50.0	1,092.82
2023年3月期	6,017	3,329	55.3	1,108.96

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,280百万円 2023年3月期 3,329百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、競争市場で自動車のEV化をはじめとする大きな変革が起こっているなか、中長期の需要動向が大きく変わることを踏まえ、2021～2023年度の中期計画において、当社の強みである「高品質・小ロット・短納期」の更なる進化を目指し、お客様の要望する商品・サービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は12,181百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は389百万円（前年同期比49.7%減）、経常利益は395百万円（前年同期比49.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は234百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

鉄鋼製品事業

鉄鋼製品事業では、拡販や徹底したコスト低減に継続して取り組んでまいりましたが、主力のみがき帯鋼では、自動車部品向けにおいて、受注数量が減少しているなか、在庫評価差等がマイナス要因となり、加えて、加工品においては主要用途先であるプリント配線基板業界の一時的な減速もあり前年同期比で減益となりました。

その結果、事業全体の売上高は11,991百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は296百万円（前年同期比57.0%減）となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高は189百万円（前年同期比1.3%増）、経常利益は98百万円（前年同期比10.2%増）となり、引き続き業績を利益面で下支えしております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は9,659百万円となり、前連結会計年度末より813百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品等棚卸資産が62百万円減少しましたが、現金及び預金が559百万円、売上債権が307百万円増加したことによるものです。

負債総額は5,253百万円となり、前連結会計年度末より721百万円増加いたしました。これは主に仕入債務が916百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、4,406百万円となり前連結会計年度末より92百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が129百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,656百万円となり、前連結会計年度に比べ559百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は910百万円（前年同期は414百万円の使用）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益393百万円、減価償却費199百万円、仕入債務の増加額910百万円であり、主な資金の減少要因は、売上債権の増加額307百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は246百万円（前年同期比123百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出244百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は105百万円（前年同期比0百万円減）となりました。これは主に配当金の支払105百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	42.3	44.3	45.9	48.8	45.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	22.7	30.6	30.4	27.8	27.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	1.5	0.9	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	21.8	47.3	158.5	—	363.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2022年3月期以降のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)は、有利子負債が存在しないため記載しておりません。

(注6) 2023年3月期のインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループ製品の最大の最終ユーザーである自動車業界は、国内においては個人消費の動向、海外においては販売台数や為替相場の影響を受けるため、その動向によっては当社グループの業績に影響を与える可能性があります。また、みがき帯鋼の販売価格及び原料価格改定の影響やステンレスの市況動向も当社グループの業績へ影響を与える可能性があります。

2025年3月期の連結業績の見通しといたしましては、上記の様な不確定要素が残るものの、2026年度中期計画(2024年3月29日ホームページ掲載)や足元の業況等から判断し、売上高14,080百万円、営業利益550百万円、経常利益550百万円、親会社株主に帰属する当期純利益360百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,142	1,701
受取手形	730	555
電子記録債権	588	826
売掛金	1,988	2,233
商品及び製品	1,341	1,235
仕掛品	570	462
原材料及び貯蔵品	694	845
その他	29	79
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	7,083	7,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,265	3,290
減価償却累計額	△2,504	△2,559
建物及び構築物(純額)	760	730
機械装置及び運搬具	6,693	6,810
減価償却累計額	△6,209	△6,300
機械装置及び運搬具(純額)	483	509
土地	236	236
建設仮勘定	—	2
その他	537	544
減価償却累計額	△490	△497
その他(純額)	46	46
有形固定資産合計	1,527	1,525
無形固定資産	28	22
投資その他の資産		
投資有価証券	18	26
繰延税金資産	102	54
その他	90	96
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	207	173
固定資産合計	1,763	1,721
資産合計	8,846	9,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,761	2,587
電子記録債務	962	1,052
未払法人税等	121	32
未払消費税等	41	39
契約負債	123	102
賞与引当金	65	63
その他	441	307
流動負債合計	3,517	4,185
固定負債		
役員退職慰労引当金	63	49
退職給付に係る負債	830	885
資産除去債務	32	32
その他	88	99
固定負債合計	1,014	1,067
負債合計	4,532	5,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	2,803	2,933
自己株式	△6	△6
株主資本合計	4,300	4,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	9
退職給付に係る調整累計額	9	△33
その他の包括利益累計額合計	13	△23
純資産合計	4,314	4,406
負債純資産合計	8,846	9,659

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,236	12,181
売上原価	10,365	10,673
売上総利益	1,871	1,507
販売費及び一般管理費		
販売費	642	664
一般管理費	452	452
販売費及び一般管理費合計	1,095	1,117
営業利益	775	389
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
業務受託料	0	—
仕入割引	0	1
助成金収入	14	12
その他	1	2
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	2	2
手形売却損	4	2
売上割引	5	6
環境対策費	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	14	11
経常利益	779	395
特別損失		
固定資産除却損	9	2
特別損失合計	9	2
税金等調整前当期純利益	769	393
法人税、住民税及び事業税	212	113
法人税等調整額	33	45
法人税等合計	246	158
当期純利益	523	234
親会社株主に帰属する当期純利益	523	234

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	523	234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	5
退職給付に係る調整額	△3	△42
その他の包括利益合計	△1	△37
包括利益	521	197
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	521	197
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	2,385	△6	3,882	2	12	15	3,898
当期変動額								
剰余金の配当		△105		△105				△105
親会社株主に帰属する当期純利益		523		523				523
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					1	△3	△1	△1
当期変動額合計	—	418	△0	418	1	△3	△1	416
当期末残高	1,504	2,803	△6	4,300	4	9	13	4,314

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	2,803	△6	4,300	4	9	13	4,314
当期変動額								
剰余金の配当		△105		△105				△105
親会社株主に帰属する当期純利益		234		234				234
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					5	△42	△37	△37
当期変動額合計	—	129	△0	129	5	△42	△37	92
当期末残高	1,504	2,933	△6	4,430	9	△33	△23	4,406

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	769	393
減価償却費	263	199
売上債権の増減額 (△は増加)	△732	△307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△398	62
仕入債務の増減額 (△は減少)	△147	910
固定資産除却損	9	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	30	13
未収入金の増減額 (△は増加)	1	△32
未払費用の増減額 (△は減少)	7	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	2	2
その他	70	△129
小計	△114	1,098
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△298	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△414	910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△105	△244
有形固定資産の除却による支出	△8	△2
無形固定資産の取得による支出	△9	—
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△105	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△642	559
現金及び現金同等物の期首残高	1,739	1,097
現金及び現金同等物の期末残高	1,097	1,656

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「鉄鋼製品事業」、及び「不動産事業」の2区分を報告セグメントとしております。

鉄鋼製品事業はみがき帯鋼、みがき特殊帯鋼、ステンレス鋼帯等の製造・販売を行っております。不動産事業は不動産の賃貸、管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用されている会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,049	187	12,236	—	12,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,049	187	12,236	—	12,236
セグメント利益	689	89	779	—	779
セグメント資産	7,542	424	7,967	879	8,846
その他の項目					
減価償却費	241	22	263	—	263
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	2	0	3	△0	2
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	216	—	216	—	216

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額879百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産879百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,991	189	12,181	—	12,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,991	189	12,181	—	12,181
セグメント利益	296	98	395	—	395
セグメント資産	8,020	401	8,421	1,238	9,659
その他の項目					
減価償却費	179	20	199	—	199
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	2	0	3	△0	2
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	189	—	189	—	189

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額1,238百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,238百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
寿産業株式会社	1,494	鉄鋼製品事業

当連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
寿産業株式会社	1,688	鉄鋼製品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）
該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日至2023年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,437円15銭	1,467円88銭
1株当たり当期純利益金額	174円31銭	78円18銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額（百万円）	523	234
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 （百万円）	523	234
期中平均株式数（千株）	3,002	3,002

(重要な後発事象)

該当事項はありません。